

兵庫県医師会医療支援チーム（第41陣）「宮城県災害支援現地報告」

神戸市中央区医師会 山根 光量

兵庫県医師会の支援活動が残り1週間となり活動を多摩地区医師会に引き継ぐ作業の準備をすることになりました。6月13日より、活動地域（エリア4）のチームリーダーを多摩地区医師会に移管し、兵庫県チーム、多摩チーム、日赤心のケアチーム合同で実施している朝のミーティングの司会を、杏林大学の佐藤教授にバトンタッチしました。夕方の日赤病院ミーティングにも代表として参加していただき、石巻中学の本部機能も門脇中学に移行する予定です。当面の医療ニーズはそれほど多くなく、12日現在、6か所ある避難所のうち2か所の定期診療以外は電話対応となりました。そこで、看護師さんが中心となって、すべての避難所を回り、問題点を挙げてもらいました。避難所の規模や、避難者数の違い、体育館、教室、公民館の和室での生活など環境の違いもあり、いくつかの問題点が存在していました。例えば、食事も避難所ごとでパン・弁当の配給や、炊き出し、また離れた場所での炊き出しを運んでもらう避難所などもあり、これから暑くなり環境が悪化し、栄養面、衛生面での問題が浮き彫りにされました。また、あまり動こうとしない高齢者や不登校の小中学生などの問題についても、全国の支援自治体の方々と相談をしました。避難所では、ボランティア看護師の泊まり込みや、自衛隊の入浴サービスなど、多くの方々が支援をしていました。私自身の活動は3日間と短い期間で、十分な活動ができたかどうかはわかりませんが、私にとって日常とは違う貴重な経験ができました。このような機会を与您していただき感謝いたします。最後に一緒に活動していただいた兵庫県医師会曾谷さん、姫路市医師会一橋さん、高砂市民病院看護師の小川さん、向井さんに厚く御礼申し上げます。

